

慈雲

14号

2010/8

真宗大谷派 慈雲山 瑞蓮寺

慈雲会

〒604-8214

京都市中京区新町通蛸薬師下る

百足屋町375番地

TEL/FAX (075)221-4616

zuirenji@nifty.com

http://www.zuirenji.net/

SinsyuuOotaniha

JiunzanZuirenji

Jiunkai



漱口畢已
合掌恭敬
向耆闍崛山
遙礼世尊
而作是言

【『観経』の言葉】

そつくひついで がつしちうきよう
漱口畢已、合掌恭敬、

こしやくつせん よつらいせそん
向耆闍崛山、遙禮世尊、

にさせしん
而作是言。

ピンバシヤラ王は夫人が運んでくれた食物を食べ終わると、口を漱いでからお釈迦さまがおられる耆闍崛山の方に向つて遙かに礼をなし言葉を発せられるのです。

王は幽閉されていますので、常識的に考えるとその声は届くはずはありません。

ところがその声は直ちに届いて王の願いは聞きいれられます。

人の想念（おもい）は私達が思っている以上につよいものなのかもしれません。

【お寺を楽しむ会】

住職

二月の役員会で「お寺を楽しむ会」を開くことが決定してから、さつそく実行委員の名目でスタッフを募集しました。普段お世話になってる慈雲会の役員の中から最年少の長塩さんにリーダーになっていただき、その他二十代から四十代の人を中心に声をかけました。みなさん快く引き受けてくださり、六月十二日の当日まで四回ほど打ち合わせや準備のために集まってくださいました。

その中でいい意見がでましたのでいくつかご紹介します。

現代は人と人のつきあいがうすくなっている

お寺を中心とした人のつながり、生きる場所

年齢の違いを超えた交流もよい人間の最後の楽しみは人との交わり

田舎は窮屈だが都会は寂しい

分かり合えないから寂しいと思っていたが(自分の思いを)しゃべる場所がないからではないか

誰でも自分の思いを話したい思いがある

スタッフの皆さんが、準備する段階から楽しんでおられる姿にわたしも刺激を受けました。

慈雲会会長 小西 慶典

この度は慈雲会の行事「お寺を楽しむ会」を開催しましたところ、多数ご参加くださりありがとうございました。

私は山城第一組(1)の門徒会の役もさせていたいただいており、他のお寺では門徒が気軽に集うさまざまな行事を開いていることを聞き、瑞蓮寺でもどうだろうと慈雲会の役員会で発言したところ、住職はじめ役員の方々が賛同してくださり、このたびの第一回の開催の運びとなりました。

お寺はもとより宗教儀式の場であります。勤行・聞法などを通して一人ひとりが日頃のあわただしい生活を静かに見つめなおし、人生の意義を考える機会をあたえてくれます。

しかし、町なかのお寺では門徒の方々と住職や坊主との一対一のつながりがあるだけです。同じ瑞蓮寺の門徒であってもお互い知り合う機会はありません。同じ門徒同士が知り合う場を今後も色々と作っていききたいと思えます。



1 山城第一組(やましろだいいつそ)

真宗大谷派(東本願寺)は全国を30の組に分けています。瑞蓮寺は京都教区のなかの山城第一組に所属しています。

嶋口 恭子

六月十二日にお寺で「お寺を楽しむ会」を開きますとご案内を頂きましたのであつかましく参加させて頂きました。

本堂では「百人一首」の最中で皆様楽しそうでした。

それが終わるとめずらしい京言葉のかるたが始まり私も何十年ぶりか童心にかえりお仲間に入れて頂き読ませてもらい、なつかしい京言葉を耳にして、勉強になりました。

次は「ぼうずめぐり」みんなでキャツキヤ、おひめ様がた、坊さんが出たと大喜びの内に第一部は終わりました。



第二部の懇親会は皆様持ち寄りのご馳走が机の上いっぱい並び、たくさんいただきながら今度はお喋りに花が咲き、気がつけば外は暗くなっていました。ほんとうに楽しいひとときをありがとうございました。

これからも二回、三回と続きます様に。



宮田きぬ子

ご案内を頂き参加いたしました。宗教行事をはなれ皆様と気軽に談笑することが出来ました。

ご門徒さんの中には学校の先輩後輩の方もおられ不思議なご縁を感じました。楽しくおだやかな一時を過ごさせて頂きました。

有難うございました。



今回はスタッフの一人として参加させて頂きました。

従来のお寺「お堅い」というイメージを無くし、子供から大人まで楽しい時間をすごしてもらい、特にちいさな子供に楽しんでもらうように心がけました。結果、参加して頂いた人達には好評でした。



志知 隆

しかしながら、不参加の方がまだまだ多く、当初のお寺「お堅いや宗教に對する戸惑いが払拭出来なかつたかな」と感じました。

スタッフのみなさんにも色々な思いがあると思いますが、次回があれば、お寺で遊ぶみたいに（公園に行くような感覚）して行きたいと思えます。

中田 大二郎

はじめまして。お寺を楽しむ会で実行委員をさせて頂いた中田大二郎と申します。

今回の楽しむ会はカルタ大会とお食事会の二部構成で行いました。

カルタ大会では大人も子供も関係なく無邪気にカルタを楽しむ皆さんの様子を見ることができました。

お食事会ではご年配の方々から昔の祇園祭の話など、貴重なお話を沢山伺うことが出来ました。次回はこうした貴重なお話を私以外の若い方にも聞いて頂き、またご年配の方にも若い世代の現状や意見を聞いて頂き、お互いにいい刺激を得られるような会にしたいければ、と思っております。

次回の内容は未定ですが、世代を問わず楽しめるゲームなどを考えております。

是非お気軽にご参加ください。

横山 晴行
釈圓光

スタッフとして今回初めて参加させていただきました。カルタ大会、懇親会と、楽しくすごさせていたいただいて気がついたのですが、カルタ大会の方は、子供の参加では、との思いから、懇親会にと参加された方も多く、対象のお伝えが、ちやんと出来ていなかったと思えました。反省しています。

懇親会の方では、地方からこれ、これを機会にとの思いの方や今まで、地方にいて、京都に帰ってきてこれからの思いの方や、それぞれの思いの方が参加されなごやかにすごせたと思っています。

希薄になった、人と人のつながり、そこからくる孤独感、そこるところが、一番人を痛めつけていると思います。そんな思いから、人が集い、それぞれの方が、親睦を深め、都会のお寺として、「ひらかれたお寺」であったり、「人に寄り添うお寺」であったり、「たのしめるお寺」であったり、「私のお寺」だといえるお寺」めざして、頑張つてゆきたいと思つていきます。

【お知らせ】

瑞蓮寺のホームページができました。皆様一度ご覧下さい。

<http://www.zuirinji.net/>

九月十七日（金）午前九時より

仏具のお磨きをいたします

九月二十三日（木祝）

秋の彼岸会法要を勤修します

午後一時より納骨堂を開きます

二時 お勤め

三時 法話

藤本 了勝先生

四時 お齋

十一月十日（水）午前九時より

仏具のお磨きをいたします

十一月十四日（日）午後一時より

報恩講を勤修します

引き続き帰敬式を執行します

別紙にて帰敬式の要項を

ください

【編集後記】

この度、初めて「お寺を楽しむ会」と銘打つてご門徒様方々の親睦をはか

る行事が催されました。

初めての事で至らない事も多かったのですが、ご参加頂いた方々にはそれなりに楽しんで頂いたのではないかとと思っております。

今回の「慈雲」はその時の様子をご参加頂いた方々の感想をもとに構成しております。

昔々、お寺は宗教的な面と人々の集まる社交的な面をもっていた。と聞き慈雲会として今まで行ってまいりました宗教的な行事とは別に、新たに社交的な行事として続けて行ければと考えております。

第二回を年内に開催したいと考え準備を進めてまいりますので、次回は是非ともご参加下さい。

また、始まったばかりの会ですので、ご要望がございましたら御住職・慈雲会までご遠慮なくお聞かせ下さい。

併せまして、次回お手伝い頂ける方を募集しておりますので、こちらも御住職・慈雲会までお申し出下さい。

最後になりましたが、今回、慈雲会役員以外の志知様、中田様、横山様（五十音順）に中心にお世話になり、この場を借りてお礼申し上げます。長塩